

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000045
事業所名	グループホーム はるた

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） グループホームの主題である“地域密着”を常に意識し、地域から恩恵を受けるだけでなく、地域へホーム機能を還元して地域貢献に努めている。 地域から頼られる社会資源としての役割があり、様々な相談を受けている。 運営推進会議のメンバーでもある隣家の住民は、旅行に出かける時には愛犬をホームに預けていく。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年間6回の運営推進会議が開催されており、家族の代表、区・福祉課の職員、地域の代表、他事業所の責任者等がメンバーとして集まっている。 管理者の持つ広いネットワークを活用し、時にはゲストを招いて会議に参加してもらっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護受給者が4名入居していることから、区・福祉課だけでなく、保護係とも密な連携を図っている。保護係の職員の訪問が年に2回程度あり、認知症高齢者に関する困難事例等の相談が来ることもある。 管理者が、区の認知症専門職研修の講師を務める等、相互の協力関係がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族のホーム訪問時をとらえて、積極的に話しかけて良好な関係を構築している。 個人的な悩みを打ち明ける家族もあり、親身な対応に心掛けている。 季刊のホーム便りの他、携帯電話や携帯メール等を使ってホームの状況や利用者の近況を家族に伝えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎		